昭和大学病院

クオリティインディケーター（QI）成果報告
〔腫瘍内科〕

指標名

腫瘍センターの円滑な運用

目標・ゴール

腫瘍センターの待ち時間を減らす。
腫瘍センターの待ち時間の平均が 15 分以内になるようにする。

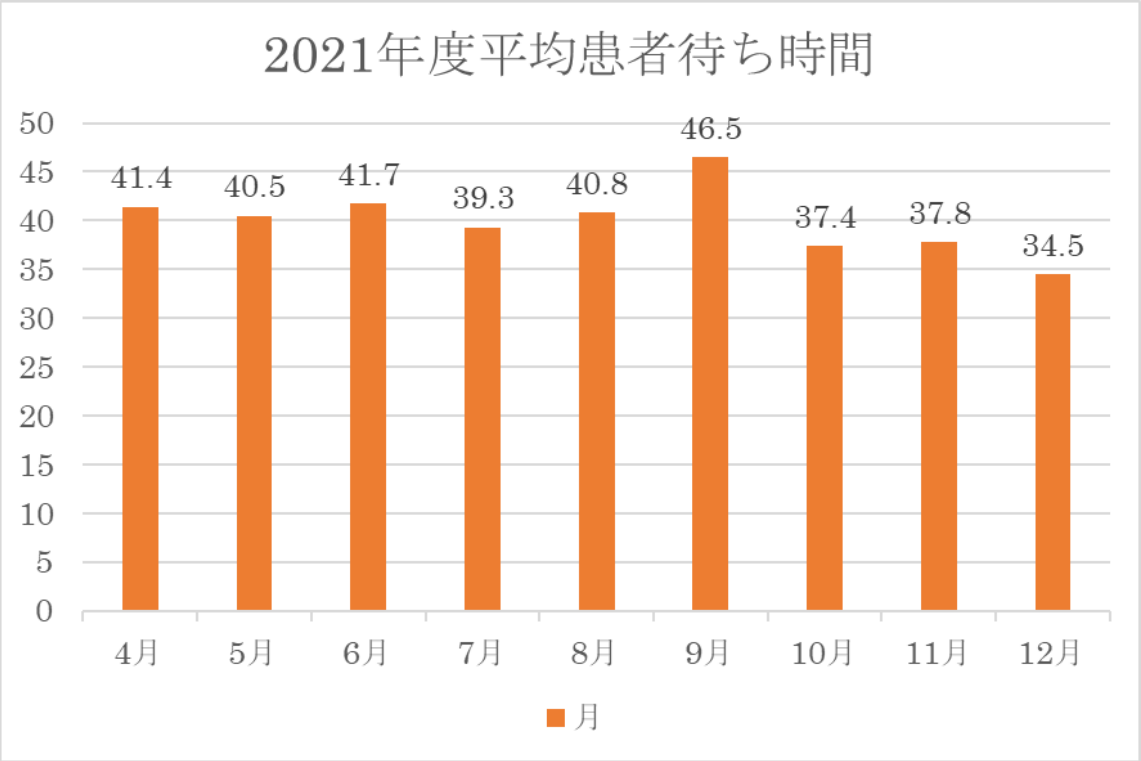
目標・ゴール達成による効果

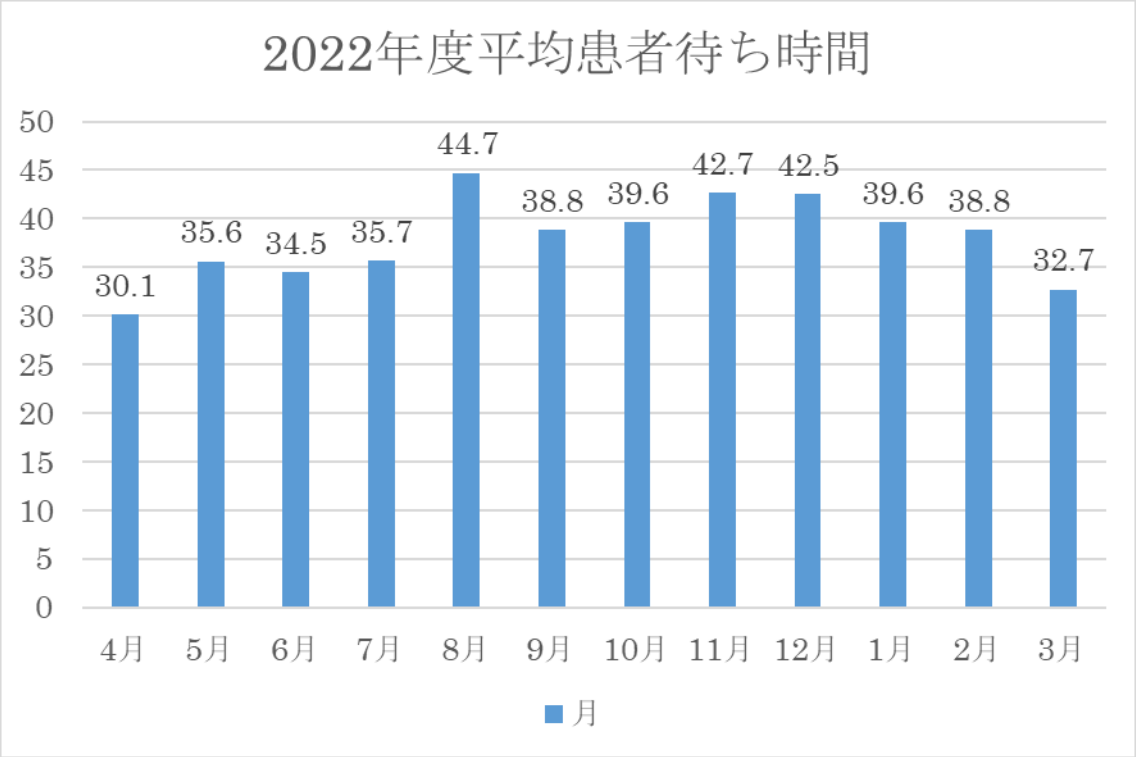
腫瘍センターの待ち時間が減り、患者サービスが向上する。
17 時までに化学療法が終了し、職員の労働環境が改善する。

目標・ゴールに対する成果の状況

腫瘍センターの円滑な運用

前回に引き続き、腫瘍センターで化学療法を受けた患者の待ち時間の集計を行った。2021 年度は、平均待ち時間が 40 分台の月が 4 か月であったのに対し、2022 年度は、3 か月と若干ではあるが、待ち時間は改善傾向にはあるが、目標は到達できていない。





目標・ゴール達成度

☐S　:大幅に目標を上回った
☐A⁺:目標を多少上回って達成
☐A　:目標を達成
☐B⁺:目標を少し下回った
☑B　:目標を下回った
☐C　:目標を大幅に下回った
☐ー　:外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

今回も 15 分以内という目標は下回った。患者には前日検査を推奨し、検査結果待ちの時間を減らし、比較的空いている診療開始直後の時間帯の有効活用を図っているが、がん薬物療法の進歩とともに腫瘍センターを利用する患者数も年々増えていることもあり、目標を下回った。現状の工夫を更に継続し、現実的な目標として、待ち時間の平均が 20 分台になるように改善していく。